

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

法人で使用している地域アセスメントシートについては、引き続き情報共有のためのツールとして、各自が地域との活動を通して入手した情報を入力し、その情報の共有を図り、今後の事業展開の検討素材として活用してまいります。

今年度は協力医との連携によるあずまカフェやケアマネサロンの定期開催により、医療と介護の連携に向けた顔の見える関係づくりに取り組みました。また、5月に開催した包括版地域ケア会議では、太田東部地区の関係者が一同に会し、積極的な意見交換を行うことができ、そのときに把握した地域課題に基づき、民生委員とのさらなる連携強化に向けて、民生委員の方に企画から協力いただき、民生委員とケアマネジャー連絡会を行いました。

このほか、ケアプラザ祭「ヒルトップフェスタ」では昨年度の経験を活かし、ドン・ドン商店会等新たな地域関係者の協力を得て開催し、あいにくの悪天候に関わらず、300人を超す方々に来場してもらうことができました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

<内容・成果>

地域住民との顔の見える関係づくりについては、引き続き高齢者ふれあいサロンや子育てサロン、お食事会、民生委員児童委員協議会の定例会等に地域包括3職種、地域交流コーディネーターに加え、生活支援コーディネーターと所長・副所長も連携のうえ、多くの場に足を運び情報発信に努めるとともに、情報交換を行うなかで相談にも迅速に対応してきました。このような日々の活動を通して信頼関係の構築を図ることで、昨年までは参加していなかった太田東部地区の連合町内会新年会など、新たな場に誘ってもらえる機会が増えてきました。

あらためて地域包括支援センターの周知を行うことを目的に、地域の高齢者食事会などの参加の機会を通じて、案内チラシの配布を行いました。

また、地域包括支援センターの周知と高齢者虐待防止の啓発を目的にポケットティッシュを作成し、案内チラシと同様に地域の高齢者食事会などで配布を行いました。

とくにポケットティッシュについては、ヒルトップフェスタでも配布し、大勢の方に手に取ってもらうことができました。

相談対応については、民生委員との連携が重要となるため、民生委員との円滑な連携を図れるよう地域ケア会議などを通して意見交換を行いました。

<課題・今後の方向性>

今後も民生委員との関係づくりには重点を置いて取り組んでいきます。

(3) 各事業の連携

<内容・成果>

地域包括支援センター3職種、地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターによる5職種会議を月1回定例開催し、地域情報や自主事業等についての情報交換を行い地域住民の関係性や町内会単位での実情等を地域アセスメントシートに入力し、情報共有を図りました。

自主事業等の開催にあたっては、お互いに必要に応じた支援を行いました。

とくに5月に行った包括版地域ケア会議については、太田東部地区の関係者が一同に会すため、これまでにない参加者数であったため、ケアプラザ全体で一丸となって取り組みました。

<課題・今後の方向性>

日常的にお互いの事業進捗状況を報告し合っているが、全職種が一同に会する機会が月1回5職種会議のみとなるため、回数増について検討していきます。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

<内容・成果>

職員のスキルアップについては、南区や横浜市が主催する研修に積極的に参加するとともに、法人として市内20ヶ所ある地域ケアプラザが連携・協力し、専門職ごとに集まる会議や研修を通して、情報交換を行い、業務遂行手順や必要な書式等の資源開発にも取り組みました。

<課題・今後の方向性>

介護保険事業における必要な人材確保については、職員募集のチラシ配布などあらゆる方策を試みていますが、なかなか改善の兆しが見えず、人材派遣を利用しなければならぬ状況が続いています。

引き続き人材確保に向けて取り組みます。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

<内容・成果>

地域包括支援センター3職種、地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターに加え、所長・副所長も連携のうえ、太田地区社協・太田東部地区社協や老人クラブ（三東会、三春クラブ）、太田いこいサロン、ドンドン食事会連絡会への参加協力を通じて顔の見える関係づくりに努めました。

5月に行った包括版地域ケア会議（「生活支援推進連絡会（協議体）」）では、太田東部地区としての取り組みについて、積極的な意見交換を行うことができました。

この会議を通じて把握した地域課題に基づいてその後の民生委員との連携に係る取り組み方針が定まりました。また、会議終了後に地域の方から新たな地域活動の可能性としてドンドン商店会の空き店舗を活用した集いの場づくりの提案を受け、その後、発案者と協力のうえ、地域のキーパーソンに働きかけを行うなかで、太田東部地区社協の活動として具体化を進める方向で動き始めました。

認知症キャラバンメイトの取組推進に向けて、太田東部地区のオレンジの会を中心に、太田地区の活動についても支援を続け、新たなキャラバンメイトの発掘につなげました。

このほかケアプラザを拠点として活動しているボランティアグループ（なでしこの会、ちょぼら）の活動を支援しました。

<課題・今後の方向性>

包括事業を通して新たに山の手自治会との連携を図ることができました。町内会単位での連携づくりも視野に入れた事業展開を引き続き検討していきます。

(6) 区行政との協働

<内容・成果>

太田地区・太田東部地区第3期地区別計画推進中間・期末振り返り会議、南区地域支援チーム連絡会に参加し、南区・南区社会福祉協議会との連携を行いました。

地域活動交流では、「地域ケア施設連絡会」「サマーフレンド」「南なんデー」「まるごとみなみ施設連絡会」「みなっち茶屋」「南区子育てもっとネット」「ちょこボラ交流会」に連携協力しました。また、「健康スタンプラリー」「まちのほっとスペーススタンプラリー」「まるごとみなみスタンプラリー」に参加協力しました。各スタンプラリーでは、日頃見かけない方の参加や来所につながりました。

地域包括支援センターとしては、毎月定例のカンファレンスに生活支援コーディネーターも加わり、情報共有に努めました。

毎月の地域包括連絡会では、区内施設との連携に努めました。

<課題・今後の方向性>

事業推進にあたり、連携する職員同士の意識共有に注意を払い取り組んでいきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

<内容・成果>

「男性体操」では参加者定着のため平成30年4月からの自主サークル化を目指しています。「みんなで体操」は平均4組の家族の参加となり、マットやボールを使用したプログラムを楽しみました。

毎年「ボランティア研修会」として南区生活衛生課から講師を招き、食中毒関連研修を行いました。こちらには太田地区・太田東部地区の2つの地区社協の食事会から16名、配食ボランティアグループからは18名と多くの方が参加し、充実した研修となりました。

ファミリーコンサートでは家族での参加や地域の高齢の方の参加があり、2回とも定員オーバーとなる大盛況でした。また、敬老の日近くに高齢者対象の「シルバーコンサート」を開催したところ、「高齢者ふれあいサロン」の外出企画ともつながることができ、より多くの方が参加してくれました。

また、2月・3月と地域向けに「似顔絵講座（全2回）」、高齢者向けに「脳トレ講座（全4回）」を開催する予定です。

地域包括支援センターと共催した「終活セミナー」には、60～70代の15名の方に参加してもらい、健康の大切さや今後の生き方について考える良い機会となりました。

<課題・今後の方向性>

「ファミリーコンサート」では、区界のためか保土ヶ谷区岩井町からの参加が多く見られたので、地域からの参加者増加に向けて周知方法の工夫を検討していきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

<内容・成果>

施設利用のPRを広報紙「おもいやり通信」やポスターで行いました。また、ホームページでも空室状況をお知らせし利用促進を図りました。

ヒルトップフェスタではボランティア団体・個人や地域団体に活動してもらい、大勢の地域の方の参加につながりました。

太田東部地区社協「ドンドン食事サービス連絡会」の担い手を対象にした「第1回ボランティア交流会」が開催され担い手同士の情報交換や交流につながりました。

太田東部地区連合会長からサークル活動についての話を聞き、夜間時間帯での貸室利用を勧め、定期的な利用につながりました。

また、社会人層の参加を狙い夜間時間帯に「ランニング入門講座（全5回）」を開催し、講座終了後に参加者有志が自主サークル化し、こちらも夜間時間帯での定期的な貸室利用につながりました。

<課題・今後の方向性>

併設施設のため、日中の駐車場使用が制限されていることもあり、夜間時間帯については社会人層など車で来所が可能な方々に向けた講座等を開催して夜間時間帯の有効活用を進めていきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

<内容・成果>

ヒルトップフェスタでは、今年度は新たにドンドン商店会や青少年指導委員、3B体操、玄米ダンベル体操協会、おもちゃ病院、ねんりんピックの皆さんに協力してもらい活動や交流につながりました。

1月29日（月）に「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」開催予定、12月末現在で個人ボランティアは5名、団体ボランティアは1団体の新規登録につながりました。

庭木の選定等、生活のちょっとしたお手伝いを行うちょこっとボランティア活動を展開するボランティアグループ「生活応援団ちょぼら」については、区内で同様の活動を行っている団体同士の交流と顔の見える関係づくりを目的とした交流会を区内関係者の実行委員会形式により年3回開催しました。

<課題・今後の方向性>

現在、「生活応援団ちょぼら」メンバーは5名、配食ボランティアグループ「なでしこの会」は43名であるが、いずれの団体も高齢化が進んでおり継続について不安があります。講座や広報紙等で周知していますが、なかなかメンバーが増えない状況です。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

<内容・成果>

高齢者サロンや子育てサロン、地域の各行事などに参加し、地域におけるニーズや情報収集、インフォーマルサービスや健康、生活に関する情報提供などを行いました。

また、広報紙や講座案内チラシを地域の掲示板・回覧板にて情報提供しました。

子育て関連講座や地域のサロン情報は「はぐはぐの樹」ホームページに掲載をお願いし周知しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

<内容・成果>

ケアプラザ内においては、毎月1回の5職種会議を中心に日常的な情報共有に基づいて、それぞれに連携・協力のうえ事業に取り組んでいます。

南区・南区社協・区内他施設生活支援コーディネーターとは、毎月各1回の連絡会とワーキングで情報交換を行うとともに、忌憚のない意見交換が行えるため、非常に参考になることが多く有意義な機会となっています。また、お互いに連携・協力する風土が構築されているため、気になることがあればすぐに連絡を取り合える関係となっています。

生活支援体制整備事業としての視点で新たな担い手の発掘も視野に入れた講座を夜間時間帯に開催することや、地域関係者との会話の中から新たな地域活動につながる可能性を見出し、積極的な働きかけに努めました。

<課題・今後の方向性>

5職種会議について、回数増を検討していきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

<内容・成果>

総合相談の情報と民生委員の見守り対象であるひとり暮らし高齢者リストの情報を住宅地図へ落とし込み、地域状況の視覚化に取り組みました。

地域活動等の把握については、横浜市の地域活動・サービスデータベースシステムの情報入力を中心に取り組みました。今後はこのシステムを有効活用できるよう、機能を習熟するとともに他職種への伝達を行います。

把握した地域情報に基づき地域ケア会議のテーマや目的を話し合い取り組みました。

<課題・今後の方向性>

住宅地図への情報の落とし込みについて、なかなか時間が取れず、更新が滞ってしまいがちな点が課題です。

(3) 連携・協議の場

<内容・成果>

5月に包括版地域ケア会議兼「生活支援推進連絡会（協議体）」として、太田東部地区の関係者を集めて開催しました。

この会議終了後に地域関係者から集いの場についての声を聞き、その後、調整を重ね、現在、太田東部地区社協の活動として、来年度から取り組みを開始するための話し合い（協議体開催も検討）を続けています。

<課題・今後の方向性>

地域住民向けの講座については、横浜市都市整備局地域まちづくり課に協力依頼し、まちづくり支援制度についての紹介を行うことを予定していましたが、庁内調整が必要とのことであったため、今年度の開催は見送りました。しかし、個別で単位町内会からの相談を受け、まちづくり課を仲介しての制度紹介を行う機会がありました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

<内容・成果>

毎月定例の南区生活支援コーディネーター連絡会とワーキンググループに参加し、区内の生活支援コーディネーター、南区役所、南区社会福祉協議会との連携に努めました。

区域の課題として、区内でちょこっとボランティア活動を展開するボランティア団体同士の交流と顔の見える関係づくりを目的とした交流会を区内関係者の実行委員会形式により年3回開催しました。

このほか、生活便利グッズ等の情報収集・提供、生活支援につながる講座開催、生活体制整備事業の広報ツール作成を目的とした「生活支援みなみプロジェクト」を立ち上げました。

<課題・今後の方向性>

南区全体の盛り上げとして「生活支援みなみプロジェクト」の役割が重要になると考えます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

<内容・成果>

今年度は太田地区の民生委員児童委員協議会との連携について、まずは太田地区の特性を把握することを目的に個別の地域ケア会議を3回行いました。太田地区の民生委員の皆さんから地域とのつながりや特徴について情報収集を行い、地域課題を見出し、対策についての糸口を得ることができました。

<課題・今後の方向性>

今後は今回の課題を民生委員以外の地域役員等と包括版地域ケア会議で検討していきます。

② 実態把握

<内容・成果>

高齢者ふれあいサロンやお食事会、民生委員児童委員協議会の定例会等へ積極的に足を運び、顔の見える関係づくりに努めました。地域包括支援センターの周知を行うことを目的に、地域の高齢者食事会などの参加の機会を通じて、案内チラシの配布を行いました。こうした周知活動を行うことにより、頻度は少ないが、食事会の席などで相談を受けることもあり、包括職員以外の場合は持ち帰り、あらためて担当者から連絡入れるかたちでの対応を取っています。

<課題・今後の方向性>

地域で得た情報については、毎月定例の5職種会議で共有するとともに地域アセスメントシートに情報を落とし込み、今後の事業展開に向けた検討材料として活用します。

③ 総合相談支援

<内容・成果>

それぞれの専門性を活かしながらケアプラザ全体での対応や情報共有を行なうことで、迅速かつ細やかな対応を行なうことができました。

また、昨年度の相談データと今年度を比較すると、丘陵地からの相談が減少し、平地部からの相談が増加している様子が見られました。一概に丘陵地だから困りごとが多く相談が多いということではないということが予測できました。

相談の内容に応じてインフォーマルサービスであれば地域活動交流事業と連携し、ちょっとボランティアや配食サービスの紹介といった支援につなげ、介護保険サービスが必要ということであれば、相談者のニーズに応じたサービス提供事業者を紹介するなど公正中立を原則として支援にあたっています。

<課題・今後の方向性>

引き続き相談データの収集と分析を行い事業の展開や地域課題の発見に役立て、地域ケア会議やケアマネジャー連絡会、自主事業等の企画に活かしていきます。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

<内容・成果>

担当地域での成年後見制度などの普及啓発を目的として、50～65歳の現役世代の地域住民向けに講座を行ないましたが、広報の規模の割に参加人数は伸びませんでした。

高齢者虐待防止の啓発を目的にポケットティッシュを作成し、案内チラシと同様に地域の高齢者食事会などで配布を行いました。とくにヒルトップフェスタでは大勢の方に手に取ってもらうことができました。

<課題・今後の方向性>

講座等自主事業の開催については、広報の方法や地形的な問題などの検証も必要かとは思いますが、企画の方向性についても成年後見制度などの内容を深く知ってもらうというより、興味を持ってもらえるようなものや、そこへ至るまでの興味や需要のある内容を模索していく必要があると考えます。

② 高齢者虐待への対応

<内容・成果>

高齢者虐待防止の啓発を目的にポケットティッシュを作成し、地域の高齢者食事会などで配布を行いました。高齢者虐待防止についての普及啓発物品としては、断られることなく受け取ってもらえていたので、不特定多数の方への普及啓発の方法としては成功したのではないかと感じました。

また、自治会・町内会や民生委員などへ配布とともに説明等を行なうことにより連携・相談先としての地域包括支援センターを意識づけることができました。

具体的な高齢者虐待への対応については、南区保健師、社会福祉士と連携のうえ、デイサービスの利用につなげ、見守り体制を構築しました。そのなかで介護者支援としての介護者のつどいにも参加してもらうことができ、今年度の新規参加者1名として参加が定着しました。

<課題・今後の方向性>

引き続き高齢者虐待を他人事とは感じないように普及啓発を続けつつ、介護者の支援も行なっていきます。

③ 認知症

<内容・成果>

太田地区・太田東部地区キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座を清水ヶ丘第二町内会、区老連、フォーラム南太田職員、太田小学校6年生、南太田小学校6年生と多岐にわたる対象者に行うことができました。

また、認知症キャラバンメイトの取組推進に向けて、太田東部地区のオレンジの会を中心に、太田地区の活動についても支援を続け、新たなキャラバンメイトの発掘につなげました。

<課題・今後の方向性>

認知症サポーター養成講座の依頼が年々増えており、タイムリーに対応するためにもキャラバンメイトの増員、キャラバンメイト間の連携が必要と考えます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

<内容・成果>

地区民生委員児童委員協議会の定例会に参加し、地域の情報を共有することができました。また、定例会の場をお借りし、地域の介護サービス事業所を紹介する機会を設けることができました。

5月に行った包括版地域ケア会議では、民生委員とケアマネジャーの橋渡しが不十分であることが課題で挙げられ、そこから太田東部地区の民生委員とケアマネジャーの連絡会開催につながりました。この連絡会では、準備の段階から民生委員と内容について話し合いを重ね、当日はイスのみを使用し車座になった会場で、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換をすることができました。

<課題・今後の方向性>

地区民生委員児童委員協議会の定例会への参加方法について、昨年度末にアンケートを実施し、開始15分程度のみ参加とさせてもらうこととしていますが、2つの地区でそれぞれ気質の違いがあり、太田東部地区については予定通り冒頭15分が望まれており、太田地区については最後まで参加も可能となっているため、太田地区については状況に応じて最後まで参加し、地域情報の収集に努めます。

太田東部地区の民生委員とケアマネジャーの連絡会については、今後も継続的に行っていきます。

② 医療・介護の連携推進支援

<内容・成果>

ケアプラザ協力医と企画した「あずまカフェ」を2ヶ月に1回を開催しました。毎回多くの参加者があり、参加者にも好評を得ております。これによりケアプラザ協力医とケアマネジャーがお互いの役割について知ることができ、とくにケアマネジャーの医師に対する苦手意識の払拭が図られ、回を重ねるごとに双方の距離が近づいているのを感じることができました。開催にあたっては、毎回アンケートを実施し、次回のテーマ設定を行いました。

また、南区・南区医師会医療連携拠点会議、在宅医療相談室主催の事例検討会や南区認知症連絡会へ参加し、参加者同士の関係構築に努めました。

<課題・今後の方向性>

次年度においても年6回あずまカフェを開催していきます。

③ ケアマネジャー支援

<内容・成果>

ケアマネジャー同士の顔の見える関係づくりを目的として、ケアマネサロンを年度内に4回開催しました。

ケアマネジャー同士の情報交換や地域包括支援センターからの情報提供を行い、話し合いの場を設定することで、ケアマネジャー同士はもちろん、地域包括支援センター及び所長を中心とした地域ケアプラザとの顔の見える関係も構築することができました。

<課題・今後の方向性>

来年度も年4回ケアマネサロンを開催していきます。今年度は曜日、時間帯を決めて開催したのである程度定着していたところもありますが、どうしても参加できないケアマネジャーもいたのであらためて検討していきます。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

<内容・成果>

毎月定例の5職種会議を中心に地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターとともに地域情報と課題の共有を図り、それを活かしながら包括ミーティング等で地域ケア会議でのテーマ等の設定を検討してきました。

今年度は太田地区の民生委員児童委員協議会との連携について、まずは太田地区の特性を把握することを目的に個別の地域ケア会議を3回行いました。太田地区の民生委員の皆さんから地域とのつながりや特徴について情報収集を行い、地域課題を見出し、対策についての糸口を得ることができました。

<課題・今後の方向性>

来年度の包括版地域ケア会議については、太田地区を対象に開催する予定であるため、今年度のテーマ等を民生委員以外の地域関係者に広げていけるよう検討していきます。

来年度もケアプラザ協力医との関係構築を軸として医療と介護保険事業所を結ぶ機会を作っていきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

<内容・成果>

区役所と連携し作業療法士を講師に招き、ケアマネジャーを対象に「南区介護予防事業者研修」を開催し、介護予防ケアマネジメントの質の向上に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

<内容・成果>

例年行っている町内会館4ヶ所の他に、新たに山の手自治会地区にある、デイサービスほがらか南太田において「お元気で21健診」を開催しました。

かいご予防サポーターの活動支援として、スリーAを学ぶ研修会や、資生堂による美容教室を開催しました。

介護予防事業では、脳トレウォーキングボランティアとともに、清水ヶ丘公園自由広場で脳トレウォーキング教室を開催しました。

元気作りステーション事業については、参加者の介護予防への取り組みについて、作業療法士から好評価をいただくなど、活動へのモチベーションが上がることにつながりました。

<課題・今後の方向性>

参加者の要望もあり、次年度は年間を通じ、清水ヶ丘公園自由広場で脳トレウォーキング教室を開催する予定です。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設の維持管理については、南区と締結した「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」に基づいて、施設・設備が良好な状態で利用できるよう努めてまいりました。

施設維持の保守点検等については、法令等を遵守し日々の通常管理の徹底を最重点業務として取り組んでまいりました。

とくに、当施設は、中部地域療育センターと併設されており、共有部分の管理等について業務及び費用の分担をあらかじめ定め、相互に協力しながら適切に進めております。

(2) 効率的な運営への取組について

法人として、市内20ヶ所の地域ケアプラザを運営しており、その強みを活かして法人本部、各事業所と連携を図りながら、必要物品の共同購入やリース業者との契約、職員採用や人材育成など様々な面で効率化を目指した取り組みを推進してまいりました。

(3) 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、ケアプラザにおいても苦情解決担当者及び苦情解決責任者を選任し、利用者からのご意見やご要望、苦情等に対応してまいりました。

また、法人として公正中立な立場から斡旋と調整を行う第三者委員制度を設け、苦情の適正な解決に向けて取り組む体制を整えています。

利用者から寄せられた苦情については、毎月法人本部に報告のうえ、サービス向上委員会を開催し、内容の分析を行い、その結果を所内会議において職員に周知し、再発防止などに活かしております。

このほか、ケアプラザ受付窓口にご意見箱を設置して、広く利用者の声を受け付けるように努めてまいりました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

閉館中の夜間警備については、機械警備の方法により、専門業者に委託して実施してまいりました。

大地震を始め、様々な場面を想定した「緊急対応マニュアル」を整備し、緊急事態が発生した場合には、このマニュアルに基づいて職員間の連携により対応していく仕組みを構築しています。マニュアルの内容については、定期的に見直しを行い、必要な情報を加筆修正して実施してまいりました。

災害発生時においては、消防署の指導により作成した防災管理計画に基づき、職員による自主消防隊を組織し、対応する仕組みを構築しています。

このほか、ケアプラザは、災害時における在宅要援護者のための特別避難場所に指定されており、マニュアル整備をして、非常災害時には臨時に避難者を受け入れることも想定しておりますので、応急災害物資の備蓄などの準備体制を整えています。

(5) 事故防止への取組について

万一事故が起きた場合でも「事故から学び、同種の事故は起こさない」ことを基本に、利用者の立場に立った取組を行ってまいりました。

事故に至らなかった事例についても、積極的にヒヤリ・ハットとして報告書を作成し、事業所内で注意喚起のうえ事故防止に努めてまいりました。

事故が発生した場合には、適正な対処に努め、事故の振り返りを行い検討した結果を、法人本部に報告のうえ、法人内部でもサービス向上委員会により内容検討を行い、その結果を所内会議において職員に周知し、再発防止に活かしています。

このほか、リスクマネジメントの視点を持つための研修や環境整備に努めるとともに、とくに介護保険サービスにおいては、利用者の心身の状態把握を行い、その情報をミーティングで申し送りのうえ、職員間の情報共有を図り、事故防止の視点をもったサービスの提供に取り組んでいます。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の定める個人情報保護規程に則り、ケアプラザにおいても個人情報の管理に関する担当者及び責任者を選任し、職員に対する必要な指導及び情報提供に取り組むとともに、情報セキュリティ研修を年1回実施し、意識の啓発に努めてまいりました。

具体的な個人情報の管理においては、郵送物やファックス、各種配布物等の取り扱いについて、法人で定めたルールを遵守し、常に緊張感を持ってあたり、事故の発生防止に取り組んでおります。

(7) 情報公開への取組について

法人の定める情報公開規程に則り、情報開示の申し出があった場合には適正に対応してまいりました。

ケアプラザの事業内容や各種行事などについては、ホームページを定期的に更新し、利用者に最新の情報をお届けするよう取り組んでまいりました。

このほか、法人の概要や財務状況、事業計画等についても法人のホームページにおいて、いつでも閲覧できるようになっておりますので、そのことについて様々な機会を通じて、利用者への周知に努めてまいります。

(8) 人権啓発への取組について

法人本部が主催する人権研修に職員を派遣し、派遣した職員による伝達研修をケアプラザで実施し、人権に対する理解を深めてまいりました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

職員一人ひとりが日常的なゴミの分別と適正な処理を心がけ、削減に努めてまいりました。

省エネルギーへの取組については、法人として夏季はクールビズ、冬季はウォームビズを励行するとともに、ケアプラザにおいては、館内照明の消灯管理や冷暖房の適切な室温管理に努めてまいりました。

また、館内照明設備については、開設から20年が経過したことによる経年劣化のために不具合が多数発生しておりますので、順次LED照明設備への切り替えを行い省電力化に取り組んでまいりました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センター

(看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、ケアプランナー) 4名

《目標に対する成果等》

支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標として努めてまいりました。

お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮してまいりました。

関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要支援状態の維持や軽減を図り、要介護状態の予防に努めてまいりました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

併設するケアプラザの居宅介護支援事業や通所介護事業、地域活動交流事業、また近隣の居宅介護支援事業所など多くの委託事業者と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いてまいりました。

《利用者目標》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
169	174	182	175	175	169
10月	11月	12月	1月	2月	3月
178	181	183	185	178	177

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員（ケアマネジャー）常勤2名、非常勤1名

《目標に対する成果等》

支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標として努めてまいりました。

お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮してまいりました。

関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要介護状態の維持や軽減を図り、安定した生活が営めるよう努めてまいりました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

併設するケアプラザの地域包括支援センターや通所介護事業、地域活動交流事業と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いてまいりました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
64	69	72	71	74	73
10月	11月	12月	1月	2月	3月
73	73.5	75.5	80.5	78	83.5

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 704円
 - （要介護2） 831円
 - （要介護3） 963円
 - （要介護4） 1,101円
 - （要介護5） 1,227円
- 食費負担 750円
- 入浴加算 54円

《事業実施日数》 週 6日（月曜日から土曜日）

《提供時間》 9:45 ~ 16:55（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 4名（常勤兼務）
- 看護職員 4名（非常勤兼務）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 14名（常勤兼務4名、非常勤専従10名）
- 運転職員 3名（非常勤専従3名）

《目標に対する成果等》

お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してまいりました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えてまいりました。

サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めてまいりました。

- ①四季折々のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）の充実に努めてまいりました。
- ②地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に受け入れ、地域との交流を図ってまいりました。
- ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてまいりました。
- ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してまいりました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・季節を感じていただけるように、梅やレモン、ゆずなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備してまいりました。
- ・毎日提供する食事の献立については、複数利用するお客様の献立内容が重複することがないように工夫し、バランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮してまいりました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応してまいりました。このほか、高血圧症の方や糖尿病の方、腎臓病の方などにも病状や体調に配慮した減塩食やカロリー制限食などを提供してまいりました。
- ・近隣の南愛児園、清水ヶ丘保育園、めいとく保育園の児童との交流会を実施してまいりました。
- ・車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- ・南区歯科医師会（田中医院）の協力をいただき、日曜日を除くすべての曜日でお口の健康相談を実施してまいりました。
- ・書道ボランティアの方を講師とした「書道クラブ」を毎月第2土曜日に開催してまいりました。
- ・バーチャルレクリエーション「TANO」を導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実を図ってまいりました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
735	748	729	697	711	695
10月	11月	12月	1月	2月	3月
691	695	621	578	617	729

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 1, 072円
 - （要介護2） 1, 189円
 - （要介護3） 1, 305円
 - （要介護4） 1, 423円
 - （要介護5） 1, 539円
- 食費負担 750円
- 入浴加算 54円

《事業実施日数》 週 1日（日曜日）

《提供時間》 9:55 ~ 15:15（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 4名（常勤兼務）
- 看護職員 4名（非常勤兼務）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 14名（常勤兼務4名、非常勤専従10名）
- 運転職員 3名（非常勤専従3名）

《目標に対する成果等》

お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してまいりました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えてまいりました。

サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めてまいりました。

- ①四季折々のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）の充実に努めてまいりました。
- ②地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に受け入れ、地域との交流を図ってまいりました。
- ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてまいりました。
- ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してまいりました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・季節を感じていただけるように、梅やレモン、ゆずなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備してまいりました。
- ・食事の献立についてはバランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮してまいりました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応してまいりました。
- ・車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- ・バーチャルレクリエーション「TANO」を導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実を図ってまいりました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
未実施	未実施	37	51	38	37
10月	11月	12月	1月	2月	3月
41	45	44	34	44	44

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担の場合（2割負担の場合）
（要支援1・2 週1回程度） 1, 766円（3, 531円）
（要支援2 週2回程度） 3, 621円（7, 241円）
- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 6日（月曜日から土曜日）

《提供時間》 9:45 ~ 16:55（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	4名（常勤兼務）
看護職員	4名（非常勤兼務）
機能訓練指導員	4名（非常勤兼務）
介護職員	14名（常勤兼務4名、非常勤専従10名）
運転職員	3名（非常勤専従3名）

《目標に対する成果等》

お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してまいりました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えてまいりました。

サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めてまいりました。

- ①四季折々のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）の充実に努めてまいりました。
- ②地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に受け入れ、地域との交流を図ってまいりました。
- ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてまいりました。
- ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してまいりました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・季節を感じていただけるように、梅やレモン、ゆずなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備してまいりました。
- ・毎日提供する食事の献立については、複数利用するお客様の献立内容が重複することがないように工夫し、バランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮してまいりました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応してまいりました。このほか、高血圧症の方や糖尿病の方、腎臓病の方などにも病状や体調に配慮した減塩食やカロリー制限食などを提供してまいりました。
- ・近隣の南愛児園、清水ヶ丘保育園、めいとく保育園の児童との交流会を実施してまいりました。
- ・車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- ・南区歯科医師会（田中医院）の協力をいただき、日曜日を除くすべての曜日でお口の健康相談を実施してまいりました。
- ・書道ボランティアの方を講師とした「書道クラブ」を毎月第2土曜日に開催してまいりました。
- ・バーチャルレクリエーション「TANO」を導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実を図ってまいりました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
86	104	89	90	88	76
10月	11月	12月	1月	2月	3月
66	68	63	60	75	85

平成28年度「横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,756,573	0	15,756,573	15,756,573	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	253,600	△ 253,600	講座参加費収入
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	8,000	△ 8,000	
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	0	0	なし
駐車場利用収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理料充当)	0		0	8,000	△ 8,000	ケアプラザ祝日税金受領
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,254,611		2,254,611	2,254,611	0	
収入合計	19,988,684	0	19,988,684	20,250,284	△ 261,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	11,607,766	377,661	
本俸	8,015,036		8,015,036	8,011,061	3,975	含非常勤職員給与
社会保険料	1,054,606		1,054,606	1,054,606	0	法定福利費(社保・労保) 含非常勤職員分
手当計	2,259,645		2,259,645	2,263,620	△ 3,975	職員諸手当・通勤費・賞与 含非常勤職員通勤手当
健康診断費	64,035		64,035	62,160	1,875	健診・インフルエンザ予防接種費・ストレスチェック 含非常勤職員
勤労者福祉共済掛金	8,631		8,631	0	8,631	マニピュレータ
退職給付引当金繰入額	222,964		222,964	205,813	17,151	退職給付引当金繰入額
その他	360,510		360,510	10,506	350,004	福利厚生費
事務費	900,000	0	900,000	2,177,090	△ 1,277,090	
旅費	5,689		5,689	5,689	0	出張交通費
消耗品費	167,747		167,747	167,747	0	事務用品・ボランティア活動対用品等
会議随費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	137,093		137,093	137,093	0	トナー代及び年賀状印刷等
通信費	315,718		315,718	315,718	0	電話代・テレビ協会ネットワーク回線費等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	157,589		157,589	1,238,837	△ 1,081,248	事務用機器リース・第三者評価受審等
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	20,727		20,727	20,727	0	施設賠償責任保険・業務災害保険
職員等研修費	2,668		2,668	2,668	0	研修出張費
振込手数料	19,328		19,328	19,328	0	振込手数料
リース料	22,441		22,441	22,441	0	アタゴデジタルリコーダー
手数料	0		0	0	0	なし
地域協力費	51,000		51,000	51,000	0	地域祭礼協賛金
その他	0		0	195,842	△ 195,842	エアコン清掃・防火対象物点検等
事業費	1,642,000	0	1,642,000	874,782	767,218	
運営協議会経費	42,000		42,000	32,054	9,946	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,600,000		1,600,000	842,728	757,272	自主事業に係る講師謝金等
管理費	4,502,423	0	4,502,423	4,004,411	498,012	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	1,946,829	0	1,946,829	1,946,829	0	光熱水費
電気料金	748,943		748,943	748,943	0	
ガス料金	648,943		648,943	648,943	0	
水道料金	548,943		548,943	548,943	0	
清掃費	986,737		986,737	986,737	0	建物清掃委託費
修繕費	343,073	0	343,073	343,073	0	予算：指定額
機械整備費	25,802		25,802	25,802	0	建物機械整備
設備保全費	500,732	0	500,732	500,732	0	
空調衛生設備保守	341,750		341,750	341,750	0	空調衛生設備保守
消防設備保守	67,083		67,083	67,083	0	消防設備保守
電気設備保守	26,214		26,214	26,214	0	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	13,762		13,762	13,762	0	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	5,161		5,161	5,161	0	駐車場設備保全費
その他保全費	46,762		46,762	46,762	0	ボイラー点検・自動扉点検・遠赤外線暖房機点検等
共益費	0		0	0	0	なし
その他	699,250		699,250	201,238	498,012	屋外排水管高圧洗浄・中庭植栽管理他
公租公課	958,834	0	958,834	928,621	30,213	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	928,621	30,213	地域交流人件費に係る消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
一対一対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,988,684	0	19,988,684	19,592,670	396,014	
差引	0	0	0	657,614	△ 657,614	

自主事業費収入	1,600,000		1,600,000	253,600	1,346,400	予算：指定管理料を含む
自主事業費支出	1,600,000		1,600,000	842,728	757,272	自主事業費支出
自主事業収支	0	0	0	△ 589,128	589,128	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	5,161	△ 5,161	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	△ 5,161	5,161	

平成29年度「横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,028,195	0	23,028,195	23,028,195	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0	0	0	0	0	なし
指定管理料充当事業(介護予防)	0	0	0	0	0	なし
指定管理料充当事業(生活支援)	0	0	0	4,000	△ 4,000	なし
自主事業収入	0	0	0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	116,000	△ 116,000	
印刷代	0	0	0	0	0	なし
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	なし
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	なし
その他(指定管理充当)	0	0	0	116,000	△ 116,000	研修生受入謝金
その他(提案時控除 法人負担分)	1,843,943	0	1,843,943	1,843,943	0	
収入合計	30,812,138	0	30,812,138	30,932,138	△ 120,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	30,993,051	△ 3,516,758	
本俸	14,000,867	0	14,000,867	16,517,625	△ 2,516,758	職員本俸
社会保険料	4,165,111	0	4,165,111	4,165,111	0	法定福利費(社保・労保)
手当計	8,601,032	0	8,601,032	9,601,032	△ 1,000,000	超勤・賞与・通勤等
健康診断費	57,340	0	57,340	57,340	0	健診・インフルエンザ予防接種費・ストレスチェック
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	617,437	0	617,437	617,437	0	退職給付引当金繰入額
その他	34,506	0	34,506	34,506	0	福利厚生費
事務費	330,000	0	330,000	1,711,755	△ 1,381,755	
旅費	21,939	0	21,939	24,039	△ 2,100	出張交通費
消耗品費	85,904	0	85,904	85,904	0	事務用品・扇風機購入
会議ठीい費	0	0	0	0	0	なし
印刷製本費	40,042	0	40,042	125,042	△ 85,000	トナー代
通信費	65,000	0	65,000	463,394	△ 398,394	電話代・切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	なし
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	なし
備品購入費	39,499	0	39,499	39,499	0	掃除機・ハイ購入
図書購入費	0	0	0	0	0	なし
施設賠償責任保険	20,727	0	20,727	20,727	0	施設賠償責任保険・業務災害保険
職員等研修費	13,285	0	13,285	13,285	0	研修出張費
振込手数料	21,163	0	21,163	21,163	0	振込手数料
リース料	22,441	0	22,441	22,441	0	アクティブデルトリパー
手数料	0	0	0	0	0	なし
地域協力費	0	0	0	0	0	なし
その他	0	0	0	896,261	△ 896,261	防火対象物点検・システム保守料等
事業費	1,809,000	0	1,809,000	914,304	894,696	
協力医	504,000	0	504,000	504,000	0	予算：指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	845,000	0	845,000	98,132	746,868	自主事業費
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000	0	151,000	151,054	△ 54	予算：指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000	0	309,000	161,118	147,882	予算：指定額
管理費	1,196,845	0	1,196,845	1,064,447	132,398	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	予算：指定額
光熱水費	517,511	0	517,511	517,511	0	光熱水費
電気料金	213,839	0	213,839	213,839	0	
ガス料金	103,839	0	103,839	103,839	0	
水道料金	199,833	0	199,833	199,833	0	
清掃費	262,297	0	262,297	262,297	0	建物清掃委託費
修繕費	91,195	0	91,195	91,195	0	予算：指定額
機械警備費	6,858	0	6,858	6,858	0	建物機械警備
設備保全費	133,097	0	133,097	133,097	0	
空調衛生設備保守	90,842	0	90,842	90,842	0	空調衛生設備保守
消防設備保守	17,831	0	17,831	17,831	0	消防設備保守
電気設備保守	6,968	0	6,968	6,968	0	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	3,657	0	3,657	3,657	0	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	1,371	0	1,371	1,371	0	駐車場設備保全費
その他保全費	12,428	0	12,428	12,428	0	ボイラー点検・自動扉点検・遠赤外線暖房機点検等
共益費	0	0	0	0	0	なし
その他	185,887	0	185,887	53,489	132,398	屋外排水管高圧洗浄・中庭植栽管理他
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他()	0	0	0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	30,812,138	0	30,812,138	34,683,557	△ 3,871,419	
差引	0	0	0	△ 3,751,419	3,751,419	

自主事業費収入	1,305,000			4,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	1,305,000			410,304	自主事業費(包括・生活支援・介護予防)
自主事業収支	0			△ 406,304	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			1,371	使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 1,371	

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	認知症対応型 通所介護
		収入	介護保険収入	10615	11341
その他	0		251	15833	905
介護予防ケアマネジメント費	0		0	0	0
負担金収入	0		0	8814	594
認定調査料	0		251	0	0
食費	0		0	6983	311
	0		0	0	0
その他	0		0	36	0
収入合計(A)	10615		11592	90704	5951
支出	人件費		2987	16795	60543
	事務費	243	1673	12440	731
	事業費	0	11	12042	532
	管理費	0	0	1724	0
	その他	6584	0	1011	0
	利用者負担軽減額	0	0	54	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	6584	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	957	0
支出合計(B)	9814	18479	87760	4984	
収支 (A) - (B)		801	-6887	2944	967

平成29年度 自主事業報告書

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちよこっと ボランティア 生活応援団 ちょぼら (高齢者支援)	ボランティアグループ生活応援団「ちょぼら」が地域の高齢者などを対象に生活支援を行っているもので、ケアプラザでは、地域の皆さんからの依頼を受けるなどの相談・連絡・調整を担当しています。電球の交換から庭木の剪定、草むしり、障子の張替えなどを実施します。	随時 年間56件

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいサロン (高齢者支援)	各町内会婦人部などが担い手となって実施しています。地域の高齢者の外出と仲間づくりの支援が主な目的となっていますが、赤ちゃんからお年寄りまでの異世代交流を目指しています。各町内会館を会場とし簡単な体操、会食、手芸、歌などのレクリエーションや外出レクリエーション、外食などを行います。	南太田ふれあい サロン (年12回) 三春台ふれあい サロン (年15回) 前里町ふれあい サロン (年36回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なでしこの会 食事会 (高齢者支援)	配食ボランティアグループ「なでしこの会」と共催で実施しています。食中毒予防のため、配食サービス中止の夏期間に利用者をケアプラザに招いて行っているもので、会食と他ボランティアグループによる歌・演奏などを楽しんでもいただけます。	年1回 7月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て広場 「ベビーマッ サージとベビー ヨガレッチ」 (子育て支援)	乳児とその母親を対象とした講座で、赤ちゃんとのコミュニケーションを学びつつ、ケアプラザを相談の窓口のひとつとして知ってもらいます。また乳児を持つ母親に気分転換や地域での居場所作り、友だちづくりの機会を作ります。 講師を招き、1時間半のベビーマッサージとベビーヨガレッチを行います。	年10回第1木曜日 4月、6月、7月、 8月、9月、10月、 11月、12月、2月、 3月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「たけのこ」 (子育て支援)	子育て中の親子を対象に、毎月第2、第4金曜日に多目的ホールを開放して自由に過ごしてもらいます。 子育て全般の支援を目的としているほか、子育て中の母親同士やボランティアと母親の交流の場を目指します。支援者として清水ヶ丘保育園保育士、カンガルークラブ、地域の読み聞かせボランティアなどに協力いただきます。	月2回 第2、第4 金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「子育てコーチング」 (子育て支援)	子育て講座の単発講座として年2回子育てに関するヒントを学ぶとともにケアプラザを相談の窓口のひとつとして知ってもらいます。 講師を招き、1時間半の座談会を行います。	年2回 7月、11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ファミリーコンサート (子育て支援)	音楽家を招き、地域のファミリー層を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図ります。	年2回 7月、12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バリアフリー テニス (障がい児余暇支援)	障がいのある小学生・中学生・高校生を対象にした余暇支援講座です。テニスを媒体として親子や友だちと楽しい時間を過ごします。障がい児を抱える家族の負担を軽減するとともに、子どもたちに余暇活動の機会を提供し、活動の場を地域に広げることを目指します。	年3回 7月、12月、3月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操 (地域支援)	地域の親子や家族、住民を対象に身近なケアプラザを利用し、講師を招きみんなで体を動かし、家族で楽しい時間を過ごします。	年12回 第2日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くらしと趣味の 学習館 (地域支援)	主に「生活応援団ちょぼら」のメンバーなどを講師に迎え、住まいの小修繕や趣味の講座を実施します。住まいの小修繕等の講座を通じて仲間づくりや地域参加を推進しボランティア活動に興味を持ってもらうことを目的とします。	年3回 5月「網戸の張り方 法」、6月「庭木の 剪定方法」、11月 「刃物の砥ぎ方」

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性体操教室	男性のための筋力アップと介護予防のための体操を行うとともに参加者同士の交流や外出の機会を作ります。	月2回 第2、第4 日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレ講座 (新規事業)	簡単なプリントを使った脳トレーニングを行い脳を活性化するとともに外出機会のひとつとなり、みんなで集まることによる仲間づくりと交流を促進することを目的とします。	全4回 2月、3月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
美文字講座 (新規事業)	地域の方を対象に筆ペン習字のポイントを学ぶとともに、身近なケアプラザを知ってもらい外出や参加者同士の交流の機会を作ります。	全2回 7月、8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活セミナー (新規事業)	終活に向けて知っておきたいことを学ぶ機会を作ります。 第1回「老年期のマネープラン」 第2回「老全整理って何？」 第3回「健康寿命をのばそう！」	全3回 10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバー コンサート (新規事業)	音楽家を招き、地域の高齢者層を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図ります。	年1回 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
似顔絵講座 (新規事業)	地域の方を対象に似顔絵のポイントを学ぶとともに、身近なケアプラザを知ってもらい外出や参加者同士の交流の機会を作ります。	全2回 2月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
環境絵日記展 (新規事業)	エリア内にある太田小学校と南太田小学校の協力を得て、環境絵日記の作品展示を行い、小学生とその家族等に地域ケアプラザを知ってもらいきっかけづくりを目指します。	全1回 3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 研修「食中毒の 原因とその予 防」	ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象とした講座です。ボランティアのスキルアップを目的とします。	年1回 6月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティアポ イント登録研修 会	地域の方やケアプラザで活動中のボランティアを対象によこはまシニアボランティアポイント登録のための研修会を行います。	年1回 1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドンドン商店会 縁日出店	地元商店会の縁日に参加し、ケアプラザのPRを兼ねて地域住民との交流を図っています。ボランティアの協力により、ゲームコーナーやミニバザーなどを企画します。	年1回 8月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり 「ヒルトップフェスタ」	清水ヶ丘地域ケアプラザのPRと地域住民との交流、ボランティア団体・個人、関連施設との連携を行います。	年1回 10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象に実施します。日頃の活動に対する感謝とともに、ボランティア同士の交流と親睦を図ります。 各団体の紹介を中心に、歌、楽器演奏なども披露いただいています。	年1回 3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太田東部地区 「健民祭」参加	太田東部地区で開催される健民祭に参加し、町内会・民生委員と連携して地域住民との交流、ケアプラザをPRしていきます。	年1回 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区健康福祉まつり 「南なんデー」参加	ケアプラザのPRと住民との交流を目的に南区ケア施設連絡会として参加しています。パネル展示で施設の紹介を行うとともに、区役所と協力し異世代交流を目的にゲームなどで子どもたちとふれあいます。	年1回 10月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	「認知症を学び、地域で支える」をテーマとして、太田地区と太田東部地区各々の地域にて、キャラバンメイトによる講座開催を支援してまいります。	年7回 6月、8月、 11月、12月、 1月、2月、3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業 「ハッピー・ストレッチ」	太田地区とその近隣地区の参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	年21回 月2回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業 「いきいきダンベル体操教室」	太田東部地区とその近隣地区の参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	年21回 月2回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業 「南太田すこやか体操教室」	太田地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	年19回 月2回程度

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業 「清水ヶ丘第二玄米ダンベル体操教室」	太田東部地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	年24回 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お元気で21健診	運動や認知機能低下等、健康寿命に影響するサインを早期発見できるように、包括版、地域版の「お元気で21健診」をかいご予防サポーターとともに開催してまいります。	年5回 5月、6月(2回)、 2月(2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かいご予防サポーター定例会	太田地区、太田東部地区のかいご予防サポーターによる、地域での介護予防の普及に向けて、地域での活動の検討や、スキルアップのための講習会を開催してまいります。	年2回 6月、1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度普及啓発事業	成年後見制度や遺言・相続などをテーマとした地域住民・民生委員・町内会役員等の地域福祉関係者向け講座を開催し制度の普及啓発・利用促進をします。	年1回 11月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者虐待防止普及啓発事業	地域の自治会・町内会、民生委員、地区社会福祉協議会友愛活動員等、また広く一般の地域住民向けに普及啓発物品（ポケットティッシュ）を作成・配布することで、高齢者虐待防止についての認識や意識を向上を図ります。 また、地域の福祉保健活動者との更なる連携・相談体制の強化を図ります。	作成自体は1回 配布は連合町内会、民生委員・児童委員協議会参加時、ケアプラザ祭りにて行う。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員・ケアマネジャー連絡会	地域のケアマネジャーを対象として、介護技術向上を目的としたスキルアップ講座や勉強会の開催、介護保険や福祉関係の制度や行政サービス等の情報提供を行います。 地域福祉関係者（民生委員）との交流も含めた「連絡会」として開催し、顔の見える関係づくりを目指します。	年2回 11月、3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あずまカフェ	ケアプラザの協力医の医師とケアマネジャー、訪問介護事業所（サービス提供責任者）等との、情報交換会を定期的に開催し関係性が築けることを目指します。	年6回 5月、7月、 9月、11月、 1月、3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	ケアマネジメントを実践する為に必要な情報の共有、勉強会を定期的に開催し資質向上を目指します。	年4回 4月、6月、 8月、12月

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い 「みんなの会」	介護者を抱える家族を対象に外出や気分転換の機会を提供し、活動の場を地域に広げてもらうとともに、介護や介護者に対する理解を深めてもらうことを目的に開催いたします。	年12回 第3金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	高齢者が住みなれた地域で暮らし続けるために地域包括ケアシステムの構築を目指します。個別ケースの課題解決や地域課題について地域住民と話し合う場として個別レベルの地域ケア会議を開催しました。	年3回 8月、11月、2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成29年度南区 地域ケア会議 (共催事業)	南区役所、生活支援コーディネーターと共催し、協議体を兼ねて実施します。包括レベル地域ケア会議で講師による事例検討を実施し、日常生活圏域ごとの地域特性や課題等を整理してまいります。	年1回 5月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
超初心者向けランニング入門講座 (新規事業)	これからの担い手発掘を主眼に40～60代の就労者層を対象に仕事帰りに参加可能な時間帯に開催し、これまでケアプラザと縁の薄い層にケアプラザの存在を知ってもらうために開始します。 走行ルートについては、清水ヶ丘公園に協力を依頼する予定です。 講座開催後はサークル自主化を進め、防犯パトロールなどの取り組みと絡めた活動を推進してまいります。	年5回 9月、10月

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	総経費	自主事業決算額						
			収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て広場 「ベビーマッサージとベ ビーヨガレッチ」	未就園児親子	66,820	地活	39,520	27,300		66,820		
	189名		包括						
	300円		生活						
子育て広場 「たけのこ」	乳幼児親子	9,228	地活	9,228				1,000	8,228
	333名		包括						
	無料		生活						
子育て広場 「子育てコーチング」	親子	13,364	地活	4,364	9,000		13,364		
	18名		包括						
	1組500円		生活						
子育て広場 「ファミリーコンサート」	乳幼児親子	13,364	地活	13,364			13,364		
	93名		包括						
	無料		生活						
障がい児余暇支援事業 バリアフリーテニス	障がい児	33,533	地活	29,633	3,900		30,000	3,533	
	18名		包括						
	300円		生活						
みんなで体操	地域	66,816	地活	66,816			66,816		
	127名		包括						
	無料		生活						
くらしと趣味の学習館	地域	15,062	地活	10,262	4,800		10,023	5,039	
	16名		包括						
	300円		生活						
美文字講座	地域	13,896	地活	6,696	7,200		6,682	7,214	
	16名		包括						
	1,000円(全2回)		生活						
男性体操教室	地域男性	213,816	地活	129,816	84,000		213,816		
	168名		包括						
	500円		生活						
ボランティア研修会 「食中毒とその予防」	地域	4,046	地活	4,046					4,046
	34名		包括						
	無料		生活						
ドンドン商店会縁日出店	地域	26,769	地活	9,519		17,250		21,209	5,560
	150名		包括						
	内容により		生活						
ヒルトップフェスタ	地域	179,789	地活	83,639	96,150		4,000	128,571	47,218
	316名		包括						
	内容により		生活						
ボランティア交流会	ボランティア	146,569	地活	146,569					146,569
	50名		包括						
	無料		生活						
脳トレ講座	地域	9,123	地活	9,123				1,454	7,669
	43名		包括						
	無料		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
似顔絵講座	地域	8,842	地活	4,842	4,000		6,682	2,160	
	7名		包括						
	1,000円(全2回)		生活						
終活セミナー	地域	4,199	地活	4,199				4,199	
	31名		包括						
	無料(全3回)		生活						
環境絵日記	地域	10,810	地活	10,810				10,810	
	38名		包括						
	無料		生活						
シルバーコンサート	地域高齢者	6,682	地活	6,682			6,682		
	43名		包括						
	無料		生活						
		842,728		589,128	236,350	17,250	438,249	185,189	219,290

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者のつどい 「みんなの会」	介護者	51,916	地活						
	44名		包括	51,916			43,433	8,483	
	無料		生活						
民生委員・ ケアマネジャー連絡会	民生委員・CM等	4,070	地活						
	52名		包括	4,070				4,070	
	無料		生活						
ケアマネサロン	ケアマネジャー	3,221	地活						
	68名		包括	3,221				3,221	
	無料		生活						
地域ケア会議	地域関係者	5,853	地活						
	32名		包括	5,853				5,853	
	無料		生活						
あずまカフェ	ケアマネジャー訪問介護	2,789	地活						
	88名		包括	2,789				2,789	
	無料		生活						
高齢者虐待防止 普及啓発事業 (新規事業)	一般住民、地域福祉関係者	30,283	地活						
	1000名		包括	30,283				30,283	
	無料		生活						
		98,132		98,132	0	0	43,433	0	54,699

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
超初心者向け ランニング入門講座 (5回連続)	40～60代の就労者層	109,791	地活						
	19名		包括						
	800円		生活	105,791	4,000		25,000		84,791
					105,791	4,000	0	25,000	0